

# 第40回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

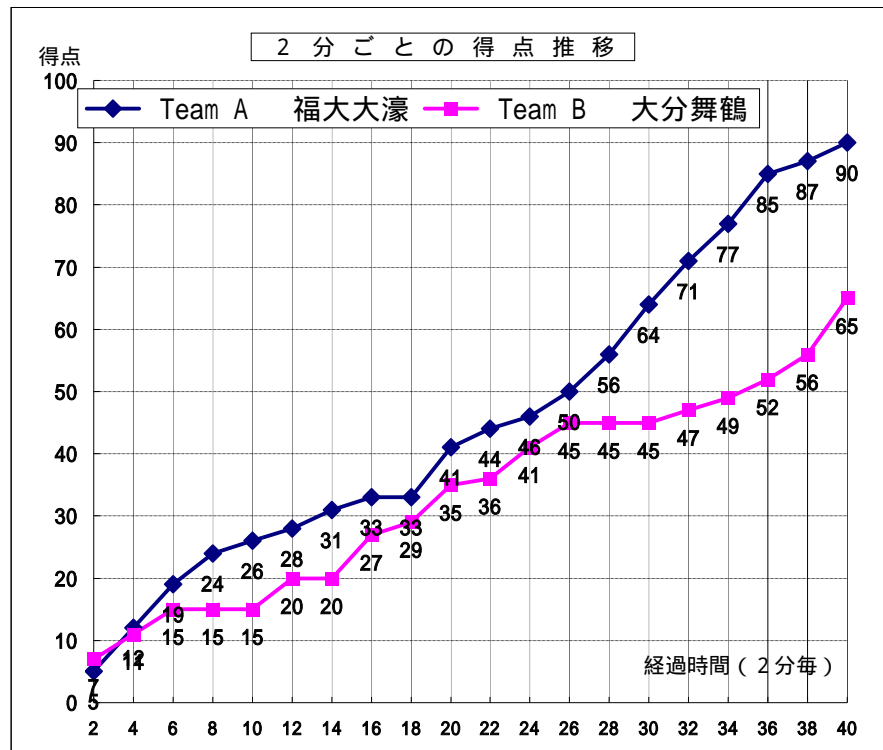
男子 1回戦

試合日	2010年2月13日
開始時間	11:10
会場	西原高等学校体育館
コート	E
試合順	2

Team A		Team B
福大大濠	90	65
福岡2位		大分1位

Team A 福大大濠		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	古賀 弾	21	3	5	5	5	2	3	2	1	2	3	2	2	0	0	36:07
5	新飼 雄三	11	0	1	5	13	1	1	1	3	2	5	1	2	2	1	32:05
6	水口 雅也	4	0	0	2	9	0	0	2	2	11	13	1	0	0	0	20:27
7	福元 直人	13	1	5	4	9	2	2	2	1	7	8	2	2	1	1	36:07
8	渡邊 秀人	2	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	07:55
9	藤田 弘道	24	0	0	10	16	4	6	0	4	8	12	1	0	0	0	36:07
10	村越 圭佑	14	0	0	7	11	0	0	2	1	4	5	1	1	1	3	21:12
11	中島 颯馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	02:14
12	徳住 颯晟	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	02:14
13	高妻 進之介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
14	赤松 遼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	01:39
15	永留 佑城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
16	岡本 雄紀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	01:39
17	原 尊 総	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	02:14
18	青木 春磨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
Team / Coach:	田 中国 明									0	3	3	6	3			
合計		90	4	12	33	65	12	16	9	16	38	54	13	7	4	5	200
		RATE	33.3%		50.8%		75.0%										

Team B 大分舞鶴		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	酒井 雅史	6	1	3	1	5	1	2	4	1	2	3	3	0	0	0	17:32
5	山村 彰	2	0	1	1	7	0	0	2	4	6	10	3	1	1	0	40:00
6	堀 高司郎	0	0	3	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	12:08
7	園田 高史	6	0	2	2	4	2	2	1	2	1	3	1	1	1	0	13:15
8	首藤 啓吾	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	01:22
9	刈屋 勇人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
10	足立 雄貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
11	佐藤 君彦	24	4	10	6	12	0	0	1	0	3	3	1	0	1	0	27:52
12	武津 祐太郎	18	2	10	3	13	6	8	2	2	3	5	1	1	1	0	40:00
13	中垣 俊平	0	0	0	0	5	0	0	4	6	6	12	1	0	2	0	38:38
14	高山 竜之介	9	3	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	03:54
15	松村 直樹	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	05:19
16	岡部 真之介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
17		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
18		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:00
Team / Coach:	齋藤 哲也									0	2	3	5	3			
合計		65	10	35	13	51	9	12	16	18	24	42	13	4	7	0	200
		RATE	28.6%		25.5%		75.0%										



タイムアウトは経過時間で表示しています

CTO	1・2P	3・4P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA						
TeamB	8:23	18:31	27:59	33:45		

**戦評**

<第1P> 両チームともマンツーマンでスタート。お互いに立ち上がりはDFを頑張り、相手に得点を許さない。大濠は#9藤田にボールを集め大分のファウルを誘いゲームの主導権を握り始める。対する大分は、#11、#12の2Pドライブで応戦する。さらにシュートカウント後のオールコートマンツーマンで守りを変化させ、一進一退の攻防を繰り返す。残り4分を切り、DFリバウンドからの速攻や、#9藤田の連続得点により勢いづく大濠がリードを広げ、26-15で第1P終了。

<第2P> 序盤からカウント後のオールコートマンツーマンで圧力かける大分。対する大濠はハーフコートでしっかりと相手OFに対応し、得点を許さない。残り8分から、大濠は、#5、#4の3Pでリードを広げ、11点差とするこの後3分間は、両チームとも気迫の守りで得点を許さず守りあう展開となる。残り5分を切って、大分#11佐藤の連続得点、#5山村のリングでの得点で4点差に。傾きかけた流れだったが、大濠は速いパス回しでペースを作り、#10村越の残り3分からの連続8得点で突き放す。大分も終了間際に3Pを沈め6点差で第2P終了。

<第3P> 大分のドライブを早いヘルプで対応し、#7、#11、#12の3Pも粘り強くシュートチェックに入った大濠が終始ペースを握る。OFでは#4、#7を中心に相手DFをかき乱し、ハーフコートでもインサイドからパスを散らして3Pを沈め、このピリオド20点を積み上げる。大分は、常にオールコートでプレッシャーをかけるが、得点に結び付けられず、64-45で大濠がリードを広げて第3P終了。

<第4P> 大分は第3Pと変わらず常にオールコートで仕掛け、#11、#12の3Pで何とか点差を縮めようとする。大濠はガード陣が冷静にボール運び、オフェンスのリズムを崩さない。高きで勝る大濠は、OF、DFともに積極的にリバウンドを奪い速攻につなげ、バランスよく得点を重ねていく。最後まで、粘り通した大分であったが、90-65で大濠が勝利を収めた。

主審	大久保 好純	副審	上原 勝	戦評	山根 裕樹
----	--------	----	------	----	-------